

平成 18 年 2 月 27 日

各 位

会社名 イーシステム株式会社
(コード番号: 4322)
代表者名 代表取締役社長 渡辺 博文
問合せ先 管理本部 本部長 大西 浩之
(TEL . 03-5781-8763)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等に踏まえ、平成 18 年 1 月 30 日に発表した連結業績予想および単体業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 連結業績予想数値の修正

平成 17 年 12 月期決算 連結業績予想数値 (単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	4,300	440	900
今回修正予想 (B)	4,318	451	2,273
増減額 (B - A)	18	11	1,373
増減率 (%)	0.4%	-	-
前期実績 (平成 16 年 12 月期決算)	6,196	272	483

2. 単体業績予想数値の修正

平成 17 年 12 月期決算 単体業績予想数値 (単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,200	550	1,100
今回修正予想 (B)	3,198	551	2,491
増減額 (B - A)	2	1	1,391
増減率 (%)	0.0%	-	-
前期実績 (平成 16 年 12 月期決算)	5,353	302	417

3. 修正の理由

昨日26日の深夜、当社の会計監査人である太陽ASG監査法人から、当社が保有しているソフトウェア使用許諾権に関して「直近の購入価格(仕入率)を基準として時価を算定し、棚卸資産の強制評価減を行う必要がある」との指摘を受けました。このソフトウェア使用許諾権の強制評価減により、1,496百万円の評価損が特別損失として計上されます。

当社としては、直近の購入価格(仕入率)は、大きなボリュームディスカウントが掛かっていること等により達成できたものであり、これをもって時価と算定することについては、市場で流通している価格との乖離が大きい事もあり、太陽ASG監査法人の主張には同意し難いと考えております。しかしながら、十分な説明をする時間的余裕のない現時点では、上記指摘を受けて特別損失を計上し、引き続き太陽ASG監査法人の理解を得るべく協議してまいります。

以上